

国立国語研究所共同研究プロジェクト
日本の消滅危機言語・方言の記録とドキュメンテーションの作成
令和2年度 第1回オンライン研究発表会
「格・情報構造（本土諸方言）」

八丈語の格・情報構造

形容詞構文における与格交替

三樹陽介（駒澤大学）

ymiki3@komazawa-u.ac.jp

2020.6.14 Web配信

0. 発表に先立って

- 八丈語は、従来、「八丈方言」「八丈島方言」などと呼ばれていたが、本発表では消滅危機言語の観点からユネスコに準じ八丈語という呼称を用いている。なお、呼称については今回は議論しない。
- 本発表では、特に八丈語の下位分類の末吉方言について扱う。

1. はじめに
2. 調査について
3. 調査結果
4. 術語と先行研究の指摘の整理
5. 八丈語の与格交替の成立条件
6. 他動形容詞文の種類による与格交替成立の可否
7. 人称との関係
8. 階層性
9. まとめと今後の課題

謝辞

参考文献

1 - 1. はじめに 一八丈語の二格を伴う形容詞

(1) ウイガ ハナシ^ニ オモシロガッテ。

あの人の 話に (を) おもしろがって。

(2) ワラ ネットコメ^ニ サメシクテ ダメダラ。

私は 猫に (を) 怖くて 駄目だ。

「標準語では^ヲ格や^ガ格であらわれる態度や感情の対象が^ニ格であらわれることがある」

(以上、金田2001)

1 – 2. はじめに —「与格交替」

与格交替

形容詞に先行する**ガ**格（主格）が**ニ**格（与格）と交替する。

(3) セーカツ {**ガ** / **ニ**} キチー。 （椎葉尾前）
（俺は）生活が きつい。

• 「九州・中国・四国など特に西日本に偏って分布」

（以上、下地ほか2018）

1 – 1. はじめに 一八丈語の二格を伴う形容詞

(1) ウイガ ハナシ_二 オモシロガッテ。

あの人の 話に (を) おもしろがって。

(2) ワラ ネットコメ_二 サメシクテ ダメダラ。

私は 猫に (を) 怖くて 駄目だ。

「標準語では_ヲ格や_ガ格であらわれる態度や感情の対象が_ニ格であらわれることがある」

(以上、金田2001)

八丈語の与格交代の成立条件は何か？

1 – 3. はじめに — 先行研究の指摘

- 先駆的研究として、下地ほか（2018）、松岡（2019）、久保園（2019）があるが、詳細な記述はこの3つのみ。
- 西日本に偏って分布している。
- 階層性がみられる（表2）。
- 二項述語の種類、他動形容詞の種類、刺激の種類。
- 人称との関係性。
 - 1人称で与格交替が許容されないものでも、3人称にシフトすることで許容される場合がある。

1 - 4. 【表2】与格交替の階層（下地ほか2018）

表2. 末吉方言の与格交替の階層

階層タイプ	階層性
二項述語の種類	他動形容詞文 > 暫定二重主語文 > 二重主語文
他動形容詞の種類	心情述語 > 感覚述語 > 叙述述語
刺激の種類	ネガティブな刺激 > ポジティブな刺激
人称の種類	3・2人称 > 1人称

1 – 5. はじめに 一本発表で述べること

- 東日本の八丈島の末吉方言でも与格交替がある。
- 与格交替成立条件の階層性は先行研究で指摘と合致する。
- 人称との関係性も概ね先行研究と合致する。

- 八丈語と諸方言の与格交代にみられる特徴を対照する。

- 以上について、先駆的研究の手法を借りて分析し、（類型論的な観点ではなく）記述的な観点から報告する。

2 - 1. 調査に関して

- 自然談話では観察できず、過去の記述でも管見の限り、今のところみつかっていない。
- 調査では、話者にエリシテーションで与格交代が可能かどうかを確認した上で、実際に文例を作成してもらっている。
- 二格形容詞がとれる話者は、使用可能かどうかの判断は明確にある。内省がはっきりしている。
- 与格交替が可能な話者は末吉方言においてのみ見つかっている。三根方言をはじめ、島内の他地区方言では、与格交代が可能な話者は、現時点では見つかっていない。

2 - 2. 【図2】調査地点図



3 - 1. 調査結果

- 末吉方言の与格交替は、心情・感覚を表す他動形容詞文において認められる。
- 金田（2001）の「標準語ではヲ格やガ格であらわれる態度や感情の対象が二格であられることがある」との指摘とも一致する。
- ネガティブな意味を持つ形容詞に偏って認められ、ポジティブな意味を持つ形容詞では許容されない。
- 以上は、下地ほか（2018）で論じられている階層性に違反しない。

3 - 2. 調査結果 一末吉方言の与格交替の特徴

- 末吉方言では、心情形容詞に限らず、感情形容詞も多く許容されていることが特徴的。
- 心情形容詞、感情形容詞ともにネガティブな意味を持つものに偏ってみられる。
- 一方、叙述形容詞では、諸方言に広くみられる「上手だ」「下手だ」等を含めて、与格交替は許容されない。

他動形容詞文

第二項が知覚を引き起こす刺激になっているもの。

(3) セーカツ {ガ/ニ} キチー。

(俺は) 生活が きつい。 (椎葉尾前、下地ほか2018)

二重主語文

第一項（外主語）と第二項（内主語）が全体・部分、所有・非所有、主体・関連物の関係にあり、述語がとる項として独立した二項とみなしがたいもの。

(5) オラー カタ {ガ/*ニ} キチー。 (椎葉尾前、下地ほか2018)

俺は 肩が きつい。

暫定二重主語文

第一項が第二項によって心的影響を受けるという他動形容詞文の特徴を持たないもの。

(6) ワシラノ カカッタ センセーワ ソロバンニ ヘタデ、

私たちが かかった 先生は そろばんが 下手で、

(鳥取県因幡南部、藤原1997)

(以上、下地ほか2018より)

4 - 3. 術語と先行研究の指摘の整理 — 先行研究の指摘の整理

- 与格交替は他動形容詞文に偏ってみられる。
- 一項形容詞文や二重主語文では許容されない。
- 方言によっては暫定二重主語文では許容されることがある。

- 下地ほか（2018）以前の記述にみられる与格交代は「上手だ」「下手だ」「好きだ」「嫌いだ（好かん）」等に先行する場合にはほぼ限られている。
- 佐賀県武雄市北方方言や宮崎県椎葉村尾前方言ではさらに多くの形容詞が認められている。
- その**大半は心情形容詞**で、感覚形容詞が与格交代を起こすのは一部方言に限られる。

5 - 1. 八丈語の与格交替の成立条件

- 一頂形容詞文(7)、二重主語文(14)～(16)、暫定二重主語文(17)(18)では与格交替は許容されない。
- 同じ形容詞でも (ex. オッカナキヤ) 叙述述語文の場合は与格交替が許容されない(18)が、他動形容詞文(19)であれば可。
- 叙述的に使用される場合でも用例 (20) は例外的に与格交替が許容されている。ただし、話者曰く、「昔のことを思い出して言う場合に可能」とのこと、第二項を刺激とみて、心情形容詞文とするべきかもしれない。

- 一項形容詞文(7)、二重主語文(14)～(16)、暫定二重主語文(17)(18)では与格交替は許容されない。

(7) ゴチソー {ガ/*ニ} モツテネー。

料理が もったいない。

5 - 3. 八丈語の与格交替の成立条件 —【非許容】二重主語文

- 一項形容詞文(7)、**二重主語文**(14)～(16)、暫定二重主語文(17)(18)では与格交替は許容されない。

(14) アラ ツブリ {**ガ**/*ニ} ヤメロワ。 **全体・部分**

私は 頭が痛い。

(15) アラ オヤ {**ガ**/*ニ} ビョーキダラ。 **所有者・被所有者**

私は 親が病気なんだ。

(16) アラ セー {**ガ**/*ニ} タカキャナー。 **主体と関連物**

私は 背が 高いな。

- 一頂形容詞文(7)、二重主語文(14)~(16)、**暫定二重主語文**(17)(18)では与格交替は許容されない。

(17) アレンチェーワ オドリ {ガ/*ニ} ヘタダラーガ、
私などは 踊るのが 下手だったけれども、

(18) アガ ホーベーク カオ {ガ/*ニ/*ン} オツカナキヤ。
私の 友達は 顔が 怖い。

- 同じ形容詞でも (ex. オッカナキヤ) 叙述述語文の場合は与格交替が許容されない(18)が、他動形容詞文(19)であれば可。

(18) アガ ホーベーワ カオ {ガ/*ニ/*ン} オッカナキヤ。

私の 友達は 顔が 怖い。

(19) ワガエノ オヤ {ガ/ニ/ン} オッカナケンテ デラレンナカ。

私の家の 親は 怖くて 出られなかった。

(出かけられなかった)

5 – 6. 八丈語の与格交替の成立条件 一例外

- **叙述的**に使用される場合でも用例（20）は例外的に与格交替が許容されている。
 - ただし、話者曰く、「昔のことを思い出して言う場合に可能」とのことで、第二項を刺激とみて、心情形容詞文とするべきかもしれない。

(20) ムカシワ センセー {**ガ/ニ**} コワカロー モンダラノー。
昔は 先生が 怖かった ものだ。

- **ネガティブな意味を持つ他動形容詞文**においてのみ、与格交替がみられ、**心情形容詞文**(21)(22)のほか、**感覚形容詞文**(23)～(25)でも許容される。

(21) ウノヒトニ (私は) あの人に	マケター {ガ/ニ} 負けたのが	{ゴーハラダララ/クヤシカララ}。 いまいまして/悔しかった。
(22) ウノヒトニ (私は) あの人に	アワー {ガ/ニ} 会うのが	オツカナカララ。 怖かった。

- ネガティブな意味を持つ他動形容詞文においてのみ、与格交替がみられ、心情形容詞文(21)(22)のほか、**感覚形容詞文**(23)～(25)でも許容される。

(23) ウノヒトラ {ガ/ニ} ヤカマシカララナー。

あの人たちが うるさかったよ。

(24) ウノヒトノ ハナシ {ガ/ニ} ネムケダラ。

あの子の話は 眠いんだ（眠くなるんだ）。

(25) ヌ {ガ/ニ} ヌルケンテ ヘーリタクナツキヤ。

湯が ぬるいから 入りたくない。

7-1. 人称との関係 — 先行研究

- 下地ほか（2018）、松岡（2019）、久保園（2019）では人称と与格交替の許容度とに関係があることが指摘されている。
- 第一項が発話者から第三者（1人称から3人称）にシフトすることで（「ガル」等を伴うことで）、1人称では与格交替が許容されない形容詞でも与格交替可能になることが指摘されている。

7-2. 人称との関係 一末吉方言の場合

- 人称と与格交替の関係性は末吉方言でも認められる。
- 1人称では与格交替は認められない (26) (27)が、2・3人称では認められる (28)~(32)。
- 「カッチーヤ」「ガンダラ」等を伴わない場合でも許容される例がある (30) 。
- 例外として、1人称でも第一項が複数接辞を伴うと許容される場合がある(33)(34)。

7-3. 人称との関係 —【非許容】1人称

- 人称と与格交替の関係性は末吉方言でも認められる。
- **1人称では与格交替は認められない** (26) (27)が、2・3人称では認められる (28)~(32)。

(26) アラ オヒサマ {**ガ**/*二} マブシキヤ。
私は 太陽が まぶしい。

(27) アラ オメー {**ガ**/*二} ウラヤマシキヤ。
私は あなたが うらやましい。

7-4. 人称との関係 —【許容】3人称

- 人称と与格交替の関係性は末吉方言でも認められる。
- 1人称では与格交替は認められない (26) (27)が、**2・3人称では認められる** (28)~(32)。

三人称

- (28) ウノヒトワ オヒサマ {ガ/ニ} {マブシカッチーヤ/マブシケガンダラ} 。
 あの人は 太陽が まぶしいようだ。
- (29) タローワ ハナコ {ガ/ニ} {ウラヤマシカッチーヤ/ウラヤマシケガンダラ} 。
 太郎は 花子を うらやましいようだ。
- (30) タローワ ハナコ {ガ/ニ} ウラヤマシカララ。
 太郎は 花子が うらやましかった。

7-5. 人称との関係 —【許容】2人称

- 人称と与格交替の関係性は末吉方言でも認められる。
- 1人称では与格交替は認められない (26) (27)が、**2・3人称では認められる** (28)~(32)。

二人称

- | | | |
|-----------|------------|---------------|
| (31) オメーワ | オヒサマ {ガ/ニ} | マブシクナカラーカー？ |
| あなたは | お日様が | まぶしくなかったか？ |
| (32) オメーワ | ハナコ {ガ/ニ} | ウラヤマシクナカラーカー？ |
| あなたは | 花子が | うらやましくなかったか？ |

7-6. 人称との関係 —【許容】例外、複数接辞を伴う場合

- 例外として、1人称でも第一項が複数接辞を伴うと許容される場合がある。

(33) オヒサマ {ガ/ニ} マブシケンテ ユーガタ イコゴン。

(私たちは) お日様が 眩しいから 夕方 行こう。

(34) ワレンチエーワ ハナコ {ガ/ニ} ウラヤマシカララ。

私たちは 花子が うらやましかった。

8 - 1. 階層性 【表2】末吉方言の与格交替の階層

表2. 末吉方言の与格交替の階層

階層タイプ	階層性
二項述語構文の種類	他動形容詞文 > 暫定二重主語文・二重主語文
刺激の種類	ネガティブな刺激 > ポジティブな刺激
他動形容詞の種類	心情述語 > 感覚述語 > 叙述述語
人称の種類	3・2人称 > 1人称（複数） > 1人称（単数）

8-2. 階層性 【表3】先行研究の諸方言にみられる階層との対照

表3. 先行研究の諸方言にみられる階層との対照

	他動形容詞文				暫定二重 主語文	二重主語 文	一項形容 詞文
	心情形容詞		感覚形容詞				
	ポジ	ネガ	ポジ	ネガ			
八丈末吉	×	○	×	○	×	×	×
武雄北方	—	○	×	○	×	×	×
椎葉尾前	○	○	×	×	×	×	×
甌 里	○	○	○	○	○	×	×

9 – 1. まとめと今後の課題

- 下地ほか（2018）では与格交替について、ガ格が双方向、ヲ格が求心的、ニ格が遠心的な意味ベクトルを持つとした上で、「第二項から第一項への心的影響の度合いが強い述語の場合、受動文のように第二項から第一項への意味的ベクトルが優勢になり、第二項に与格の使用が可能となることが予測される」としている。

9 - 2. まとめと今後の展望

- 末吉方言では、第二項から第一項への刺激があることが成立の条件であり、その刺激を発話者が認識していることが与格交代成立の要件となっている。
- そのため、刺激がない暫定二重主語文では与格交替が成立しない。
- 形容詞の意味がポジティブなものは刺激の認識が弱いため成立しない。
- 対格（ヨ格）と与格（ガ格）がどちらも許容される例がないことから、下地ほか（2018）の遠心性、求心性が与格交替に關与していることは、末吉方言でも認められる可能性が高い。
- 対格との交替については調査・考察が及ばなかった。今後の課題としたい。

9 – 3. まとめと今後の展望

- 対格（ヨ格）と与格（ガ格）がどちらも許容される例がないことから、下地ほか（2018）の遠心性、求心性が与格交替に関与していることは、末吉方言でも認められる可能性が高い。

(35) アラー ヨメ {ニ / ガ / *ニ} ホシキヤ。

俺は 嫁が 欲しい。

(36) アラー ヨメ { *ニ / ガ / ニ } オッカナイ。

俺は 嫁が 怖い。

- 対格との交替については調査・考察が及ばなかった。今後の課題としたい。

謝辞

- いつも貴重な時間を割いてご教示くださる八丈島の話者の方々に感謝いたします。特にK.S.氏にはお忙しい中、複数回にわたり長時間ご教示いただきましたことを深く感謝いたします。
- 本研究は、国立国語研究所の共同研究プロジェクト「日本の消滅危機言語・方言の記録とドキュメンテーションの作成(プロジェクトリーダー：木部暢子)」、及び、JSPS科研費(課題番号15J11988、15K16766)及び、三菱財団第46回人文科学研究助成の助成を受けている。

参考文献

- 金田章宏（2001）『八丈方言動詞の基礎研究』笠間書院
- 金田章宏（2011）「八丈方言――古代東国方言のなごり」呉人恵編『日本の危機言語 言語・方言の多様性と独自性』北海道大学出版会
- 金田章宏（2014）「東京都伊豆諸島八丈方言」『文化庁委託事業報告書 危機的な状況にある言語・方言の実態に関する調査研究』琉球大学国際沖縄研究所
- 木部暢子（編）（2013）『国立国語研究所共同研究 消滅危機方言の調査・保存のための総合的研究 八丈方言調査報告書』国立国語研究所.
- 久保蘭愛（2019）「甕島里方言の二格形容詞」『「日本の消滅危機言語・方言の記録とドキュメンテーションの作成」平成30年度 第2回研究発表会「動詞・形容詞（本土諸方言）」』発表資料

参考文献

- 佐々木冠（2016）「関東地方の方言における格と文法関係」平成 28 年度 共同研究プロジェクト研究発表会「格と取り立て」（国立国語研究所）発表資料
- 下地理則・松岡葵・井上郁菜・宮岡大（2018）「与格項形容詞構文について～宮崎県椎葉村尾前方言を中心にver.2018.01.01」第43回九州方言研究会発表資料
- 藤原与一（編）（1997）『日本語方言辞書』下巻、東京堂出版
- 北条忠雄（1966）『上代東国方言の研究』日本学術振興会、丸善
- 松岡葵（2019）「九州方言における形容詞経験者構文の非典型格表示—宮崎県椎葉村尾前方言と佐賀県武雄市北方方言を中心に—」九州大学文学部卒業論文
(<http://www.mshimoji.com/blank-4>)
- 三樹陽介（2019）「東京都八丈島三根方言」『全国方言文法辞典資料集(5) 活用体系(4)』2014-2018年度科学研究費補助金 基盤研究(A)「日本語の時空間変異対照研究のための『全国方言文法辞典』の作成と方法論の構築」（課題番号：26244024・研究代表者：日高水穂）研究成果報告書